

■プログラム名

アジア都市環境保健学際コンソーシアムの形成（医工連携交換留学プログラム）

Development of Interdisciplinary Consortium on Urban Environment and Health in Asia(UEHAS)

■現状及び展望

本プログラムは、工学系と医学系研究科の連携のもと、東南アジアの都市環境と保健の問題解決に貢献すべく、医工それぞれの専門的知識や技術、また両分野に関する幅広い視点や知識を持ち備える人材の育成を目的としている。

交流プログラムは、短期（2週間：単位付与あり）と長期（3-4ヵ月：単位付与、単位互換あり）の2種類を設置しており、両プログラム共に学生の興味や意欲は高く、下記の通り、当初の計画数を遥かに超える交流数となっている。また、平成26年度も学生のニーズに答えるべく交流枠の増加を計画しており、今後も積極的に学生交流に取り組んでいく予定である。

〈交流実績〉 協定校：AIT、チュラロンコン大学、タマサート大学（タイ）、

インドネシア大学、パジャジャラン大学（インドネシア）

H24年度：10名（派遣10）

H25年度：26名（派遣21、受入5）

H26年度：49名（派遣23、受入26）*計画数

なお、年に一度、本学及び全協定校の教員、学生が一同に会し、国際シンポジウムを開催している（H24：東京大学、H25：チュラロンコン大学（タイ））。シンポジウムでは、教員会議、学生セッション、学生による英語でのプレゼンテーション、懇親会等、生の意見交換やコミュニケーションの場がふんだんに設けられており、このような協定校との密な人的ネットワークの構築が、プログラムの改善や円滑化に繋がっている。

■問題点及び制度上の改正希望

- ・日本人学生同様、本学在籍の留学生にもJASSO奨学金（留学生交流支援制度）の支給が可能になるよう、受給資格の見直しについて検討していただきたい。
- ・JASSO（留学生交流支援制度）との連携を、確実にしていただきたい。
申請手続きも2重となるようで（JASSOより、一般枠に採択されなかった場合、再度、重点枠に申請するようにとの返答あり）、また、来年度のJASSO奨学金の採択結果が現時点で得られてないため、年度計画（H26）に支障をきたしている。

■学生交流数

交流方向	平成23年度	平成24年度	平成25年度(※)
受入	0	0	5
派遣	0	10	21

(※) 予定含む